

狂言方が案内する横浜能楽堂見学
と狂言ワークショップ

た
ろ
う
か
じ
ゃ

太郎冠者、

あれこれ



皆さんは狂言の登場人物、太郎冠者にどのようなイメージをお持ちでしょうか？ 太郎冠者はたくさんの演目に登場する、どこにでもいそうなキャラクターです。時々、私たちも自分がまるで太郎冠者のようだと感じることがあります。今回は「千鳥」とおして、狂言の小道具についてお話ししながら、太郎冠者の人物像や人間関係、表現方法などについて、狂言の心理劇としての側面もお話しします。太郎冠者の視点から、狂言を掘り下げてみるきっかけとしていただきたいと思います。

案内役

山本則重



狂言方大蔵流。1977年、東京出身。四歳より父・山本則俊（狂言方大蔵流・重要無形文化財総合指定保持者）及び伯父・山本東次郎（狂言方大蔵流・人間国宝）に師事。五歳で初舞台。公益社団法人能楽協会会員。

山本則秀



狂言方大蔵流。1979年、東京出身。四歳より父・山本則俊（狂言方大蔵流・重要無形文化財総合指定保持者）及び伯父・山本東次郎（狂言方大蔵流・人間国宝）に師事。五歳で初舞台。公益社団法人能楽協会会員。

狂言にはいろいろな小道具があります。その中でも、葛桶はさまざまな物に見立てられます。例えば、狂言「千鳥」では酒樽、「附子」では附子（砂糖）が入った壺、「棒縛り」では蓋が盃になります。今回のワークショップでは狂言の小道具の準備から実際に舞台上で使われているところ（狂言「千鳥」の一部実演）をご覧いただきながら、狂言の魅力をお話しします。狂言の体験と本舞台・舞台裏見学付き。

実施日 令和4年10月29日(土)

時間 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00 ③16:00~18:00

参加費 2,500円 ■定員 各回15名

会場 本舞台・楽屋 ■持ち物 白足袋

申込方法 令和4年8月19日(金) 14:00~(初日は電話、Webのみ)

【WEB申込受付について】

- ・お申し込みには「Peatix」のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない方は、申し込みの際にお名前(ニックネーム可)/メールアドレス/パスワードが必要となります。
- ・1回にお申し込みいただけるのは2名様までです。3名様以上でご参加希望の場合は、繰り返してお申し込みください。

※各回の内容は同じです。

※お支払いいただきました参加費は事業中止の場合を除き返金いたしません。

※開催にあたっては「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に沿って十分な安全対策を講じます。

※今後の新型コロナウイルス感染症状況や政府方針によっては、日時・内容・定員等が変更になる場合がございます。最新の情報は横浜能楽堂ホームページをご確認ください。



横浜能楽堂

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
TEL 045-263-3055(9:00~18:00)

電車

JR根岸線「桜木町」下車北改札・西口徒歩12分/
市営地下鉄線「桜木町」下車南1出口徒歩12分/
みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分/
京浜急行線「日ノ出町」下車徒歩15分 ※タクシー利用は各駅より約5分

バス

バス停「戸部一丁目」下車徒歩5分(市営バス:103、292系統) /
バス停「紅葉坂」下車徒歩9分(市営バス:8、26、58、101、105、106系統 /
神奈中バス:横43、横44、港61系統/京急バス:110系統)
※お客様用の駐車場・駐輪場はございません。お車・二輪車・自転車等でのご来場はご遠慮ください。

主催：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

